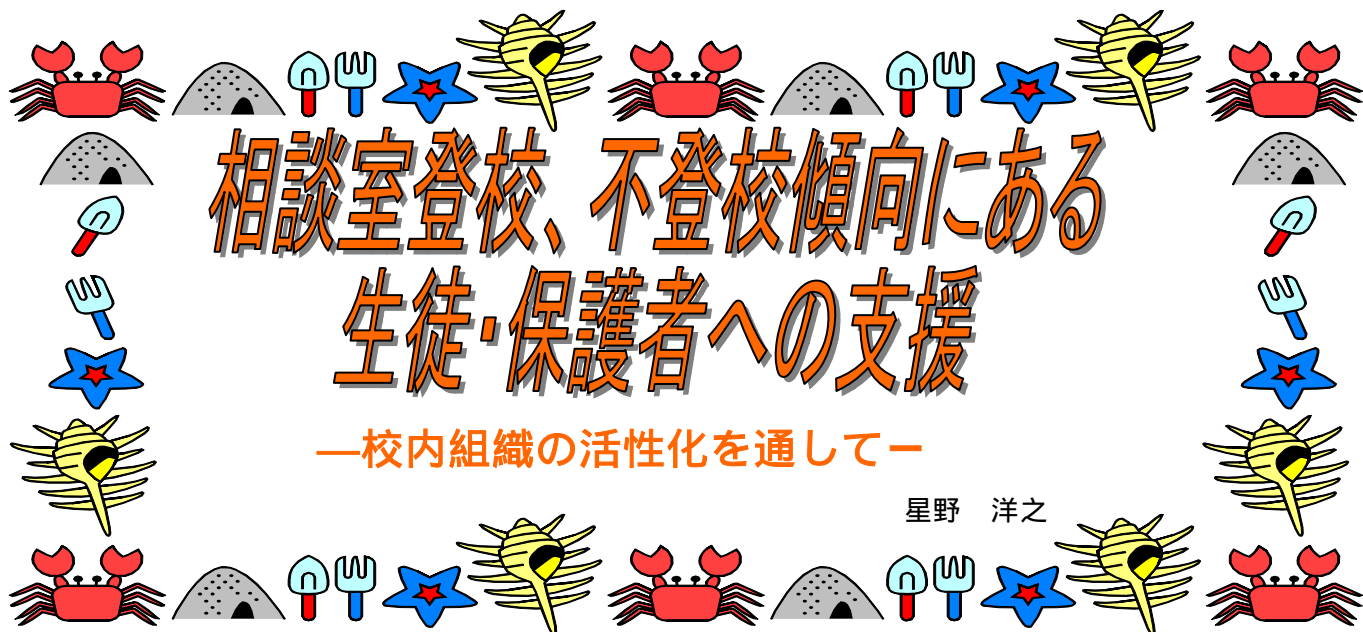




相談室登校をする生徒や不登校傾向にある生徒及び保護者に対し、校内の教育相談委員会を中心に、学級担任・学年担当の職員、スクールカウンセラーと連携を図りながらチーム支援をしてきた。生徒と教師のコミュニケーション作りを通して、教師と生徒の信頼関係や、生徒相互の良好な人間関係を育成し充実させてきたことで、生徒を取り巻く状況が改善され、復帰が促されてきた。

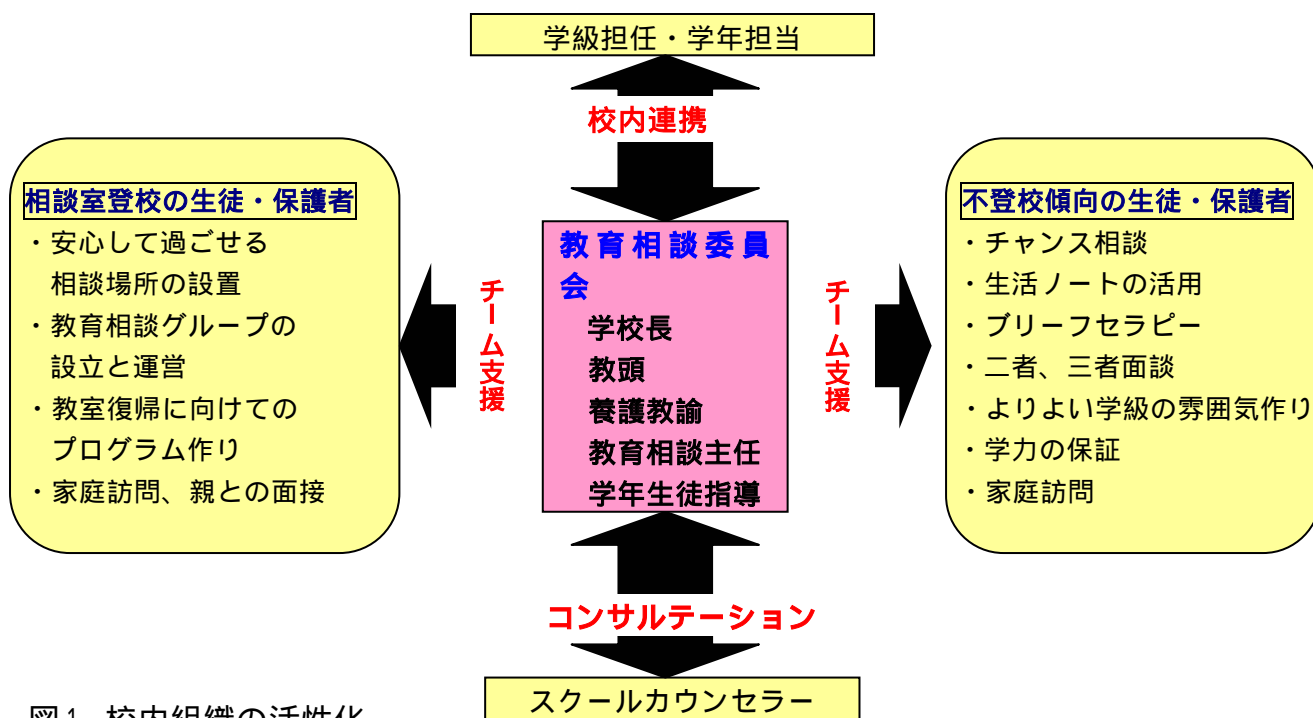


図1 校内組織の活性化

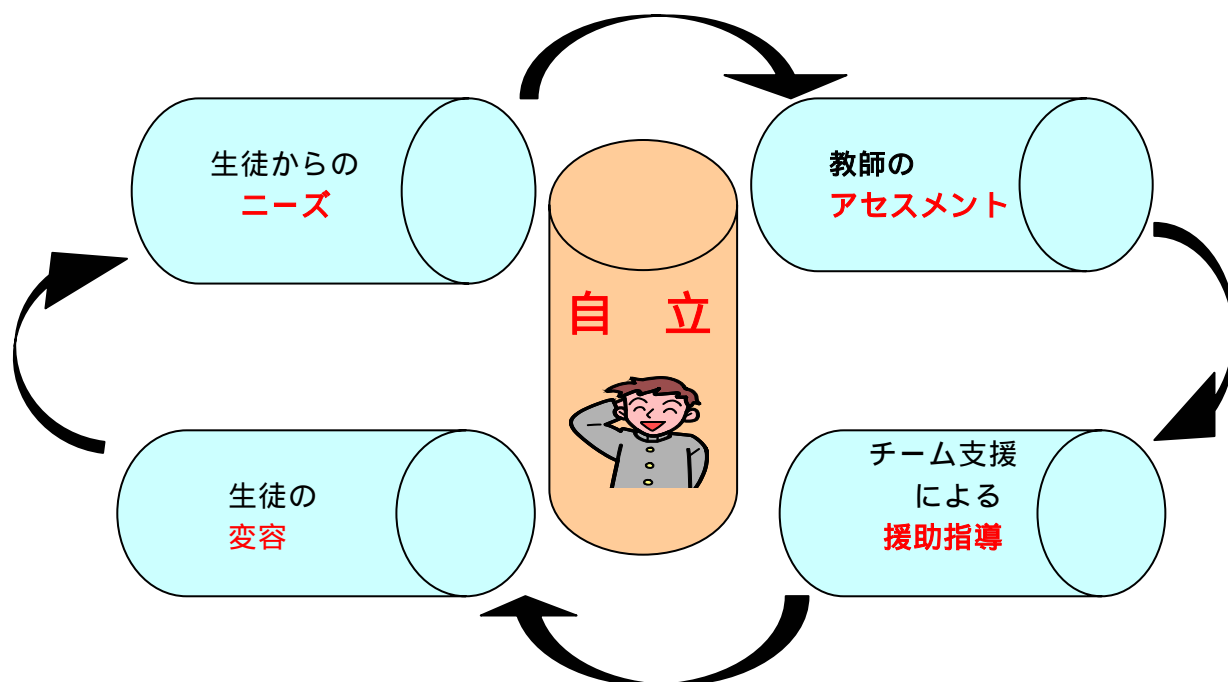
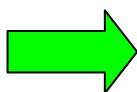


図2 課題解決にむけてのサイクル



相談室登校生徒への対応

- (1) 校内組織の確立・・・教育相談委員会として定期的な話合いの実施
- (2) 組織的な対応・・・空き時間教員の学習当番、教科別個人学習計画、連絡袋
- (3) スクールカウンセラーとの連携・・・担当者との情報交換、指導方針の確認
- (4) 家庭との連携・・・送迎の確認、家庭訪問、保護者との面接



教室復帰へ

不登校傾向にある生徒への対応

- (1) 生徒の実態把握・・・家庭訪問、電話連絡、面接
- (2) 目標の設定・・・生活、部活、学習の目標立案
- (3) 信頼関係を築くために・・・チャンス相談、生活ノート、ブリーフセラピー
- (4) 学力の保証・・・放課後学習、長期休業中の学習相談の実施

完全復帰へ

